

# 日本方言研究会

## 第114回研究発表会

日時: 2022年5月21日(土)  
場所: オンライン(zoom会議システム)

### 午前の部10:00～12:40

- 10:00-10:10 開会の辞
- 10:10-11:00 長崎県雲仙市南串山町方言の名詞の2種類の長音化 野田智子
- 11:00-11:50 発話末に位置する対称人称詞の分析—九州方言を例に— 東出朋
- 11:50-12:40 直前の行為・活動を契機に、新たな行為の展開を可能にする宮城方言の「んだ」 阿部春香

### 午後の部14:00～17:40

- 14:00-14:50 西日本諸方言話者におけるアスペクト形式のスイッチング 鴨井修平・沈力
- 14:50-15:40 少数方言の包括的記述を効率化する方法: 黒木邦彦・加藤幹治  
文法書、辞書、談話集の作成・管理を言語注釈アプリELANで一括
- 15:50-16:40 日本諸方言の新たな働き 孫瑤  
—新型コロナウイルス禍における方言揭示物から
- 16:40-17:30 「ぐんま方言かるたⅡ」の制作と課題  
佐藤高司・寺内真侃・大橋嵐・鈴木深莉・高橋南・中田みゆ・野本汐里
- 17:30-17:40 閉会の辞
- 18:00-19:00 オンライン懇親会